

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策I-5-1 産業人材の育成
---------	-----------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	雇用政策課長 得能 昌信	電話番号	0852-22-5296
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	学卒者等の職業能力開発事業
目的	(1) 対象 高等技術校が実施する、普通課程・短期課程（若年者）の公共職業訓練の受講者
	(2) 意図 地域の実情に応じ、地域産業に必要な多様な技能・知識を養成し、就業につなげる。
事業概要	地域産業界が必要としている技能・技術を習得させ就業につなげるために、学卒者等に対して、職業訓練を実施する。

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			訓練修了後の就職率（3月末時点）	目標値			90.00	90.00	90.00
		(就職者数+中途就職者数) / (修了者数+中途就職者数)	実績値	92.40	92.00	95.70	97.56		%
			達成率		102.20	106.30	108.40		%
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		目標値		0.00	0.00	0.00			
		実績値	0.00	0.00	0.00	0.00			
		達成率		0.00	0.00			%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	115,504	123,820
うち一般財源(千円)	115,504	123,820

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- 学卒者等の施設内訓練における就職率について、目標を達成しており、都道府県の全国平均も超えている。（H25年度：全国94.4%）
- H26年度においては、定員割れとなった訓練科もあり、今後に向けては、入校者定員を満たすようにしながら、産業界の人材ニーズに合った人材として仕上げた上で修了させ、就職につなげていく必要がある。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 就職率は、目標を達成しており、昨年度と比べても2.1ポイント高くなっている。また全国平均と比べても高い水準を保っている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
就職率は高くなっているが、変化する産業界のニーズに合った人材を輩出し続けるため、訓練内容の検討を行っていく必要がある。
（定員割れについては、「高等技術校管理運営事業」に記載）
- ②困っている状況が発生している「原因」
産業界の訓練ニーズの変化
- ③原因を解消するための「課題」
産業界の訓練ニーズ把握の方法

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 訓練科ごとに、関連業界団体や企業と構成する運営協議会を活用し、有益な意見を取り入れながら、訓練カリキュラムの向上を図る。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）